



# 十中だより

令和2年12月11日  
文責 奈加晃典

## めざす生徒像

- ☆自ら進んで学び、考えて行動できる生徒(確かな学力)
- ☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく協力できる生徒(豊かな人間性)
- ☆自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒(健やかな体)

## 校訓

自主 協働 剛健

### 新型コロナウイルス感染症について

今年は、本当に新型コロナウイルスに苦しめられた年でした。4月にスタートした途端の休校、数々の行事の中止や延期、夏期休業の短縮等、今までには考えられなかったことが次々とおこりました。

つい先日も、たくさんの都道府県で過去最多の感染者数を更新しています。そこで、これからの本格的な寒さの到来をひかえている中で、今一度手綱を締めることが大事であるということを、認識してもらいたいと思います。

人間は非日常なことでも数日、数ヶ月続いてしまうと、それが日常になってしまい、慣れが生じてきます。みなさんはどうでしょうか。毎日のように、感染者の増加が止まらず、医療もいよいよひっ迫してきているという報道が流れています。また、「またか」という思いが日常化してしまい、頭の中では大変なことであるという認識はあっても、個々の行動にはなかなか反映されなくなってきている状況があります。

今も教室ではしっかりと換気をしているので、かなり寒い中頑張って学習に取り組んでいます。これから本格的な寒さがやってくると、換気自体も非常にしにくくなってきます。その上、通常の風邪ひきやインフルエンザが蔓延してくると、発熱者が急増することもあります。今までと違い、少々しんどくても我慢して登校するという事はできません。そのためにも、今一度自身の行動を見直して、常日頃から自分の体調をしっかりと管理することが、これからの季節には大事になってきます。

ワクチンが副作用もなく、コロナウイルスに本当に有効であると認可がおりるまで、これからの感染者はなくなることはありません。

あるいはウイルスが相手なので、ウイルス自体生き残っていくために変異することも考えられます。今までの日常を取り戻すことができるかどうかは、それぞれの日頃の行動にかかっています。

緊急事態宣言が出された、春頃の気持ちをもう一度思い出して、今一度ふんどしを締め直すつもりで、頑張りましょう。



## 冬至

12月21日は「冬至」です。一年で一番昼が短い日であることはみなさんも知っていることだと思います。東京での日の出は6時47分、札幌では7時3分だそうです。北に行くほど日の出が遅くなるわけですが、北極に行くと一日中夜(極夜)が続き、南極に行くと一日中昼(白夜)になるというわけです。

昔から冬至にはゆず湯に入り、カボチャを食べる習慣があります。カボチャは肌や粘膜等を丈夫にし、感染症などを予防する効果が高いとされています。ぜひ、冬至にはカボチャを食べて、ゆっくりとゆず湯に浸かってみましょう。新年を迎えるにあたって「運」を呼び込むという意味合いもあるようです。カボチャは別名「なんきん」といいます。その他にも、「ぎんなん」「レンコン」「にんじん」など「ん」のつく食べ物を食べてみてはどうでしょうか。



## 1年の締めくくり

いよいよ2020年(令和2年)も終わろうとしています。冒頭にも書きましたが、本当に新型コロナに振り回された一年でした。そんな中でも、君たちは色んな工夫をして様々なことに頑張っていました。やれない理由を探すより、やるための工夫を考えるということは、たとえコロナがなかったとしても大事なことです。

学校は3月までがひとつのスパンではありますが、昔から1月に行く、2月は逃げる、3月は去ると言われるように、3学期はあっという間に過ぎていきます。2学期の始業式でPDCAサイクルの話をしたのですが、2020年という年の終わりに、自分の努力してきたことにしっかりとチェックを入れましょう。きちんと評価をし、その反省のもとに新たな計画を立てて、またその目標に向かって頑張るというプロセスを大事にしたいものです。



保護者の皆様にもお忙しい中、学校評価アンケートを実施させていただきます。忌憚のないご意見を頂戴し、学校経営・運営に活かしていきたいと思っております。

ご協力よろしくお願ひいたします。今年度からはアンケート結果や学校評価の結果もホームページを活用し、発信していきたいと考えています。

